

# ドレンフロー

工期短縮  
簡単施工  
幅広い施工厚に対応

## 特長

- ベランダや廊下等の排水溝の施工が容易であり、工期が大幅に短縮できます。
- 墨に合わせて流し込むだけで水勾配が取れます。
- 既調合モルタルなので水で練るだけで使用できます。
- 3mmから30mmまでの施工厚みに対応できます。

## 用途

ベランダや開放廊下等の排水溝専用下地調整モルタル

## 標準仕様

製品荷姿	25kg/袋
練り混ぜ水量	清水約6.0リットル
適用下地	コンクリート、PC板、モルタル
施工厚み	3~30mm
標準施工長さ	約10m (厚み15mm、幅10cm)

## 物性

試験項目	試験結果		試験方法
フロー値 [cm]	23.4		JASS 15M-103
凝結時間 [時間-分]	始発	7-50	
	終結	10-40	
下地接着強度 [N/mm <sup>2</sup> ]	1.6		JIS A 6916
曲げ強度 [N/mm <sup>2</sup> ]	4.8		
圧縮強度 [N/mm <sup>2</sup> ]	22.3		
長さ変化 [%]	0.07		

(試験場所: トクヤマエムテック試験室)



## ドレンフローの使用方法

### 下地処理

1. 下地表面のレイトンス、汚れ等を取り除き、十分に清掃してください。
2. 仕上げ面を表示するために墨出しをしてください。
3. 「とくやまSLプライマー」5倍希釈液を塗布し、乾燥後3倍希釈液を塗布してください。
4. ドレーン廻り等の漏れ止め処理を行ってください。

### 練り方

1. 所定量の水を容器に入れ、高速ハンドミキサー等がかく拌しながら、「ドレンフロー」を徐々に投入してください。
2. 投入終了後、3分間練り混ぜてください。

### 流し込み方

1. 練り混ぜ後の材料を墨に合わせて流し込み、コテ等で均して打ち継ぎ部分は軽くタッピングしてください。

### 養生

1. 施工終了後、材料が硬化するまでは振動、衝撃等は避け、直射日光、雨、風にさらされないように養生してください。
2. 施工後、仕上材を施工するまでの養生期間は2週間以上取ってください。



## 注意事項

### ■応急措置

1. 目に入った場合、絶対に目をこすらずに、速やかに清浄な水で最低15分洗眼した後、医療処置を受けてください。
2. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受けてください。
3. 吸入した場合は、速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等がおさまらなければ医療処置を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで、速やかに医療処置を受けてください。

### ■使用上の注意

1. 気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工してください。
2. 破袋または一度開封して放置された材料は使わないでください。
3. 本製品はセメント製品につき湿気厳禁です。  
雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管していただき、製造後3ヶ月までを目安に使用してください。

### ■取扱い上の注意

1. 目・皮膚等への接触をさけるため、適切な保護具（手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等）を着用してください。
2. 取扱い後は顔、手、口等を水洗してください。

### ■輸送上の注意

1. 粉塵のたたない方法で輸送してください。
2. 破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行ってください。
3. 湿気、水漏れに注意してください。

### ■漏出時の注意

1. 回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用してください。
2. 粉塵が飛散しないように注意してください。
3. 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとってください。
4. 飛散したものは掃除機等で吸い取って回収してください。または、スコップ、帚等で集め袋等に回収してください。
5. 付着したものは水で洗浄してください。

### ■廃棄上の注意

1. 残余廃棄物は固化後廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄してください。
2. 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意してください。
3. 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理してください。
4. 使用済み容器は産業廃棄物として処分してください。

### ■その他

1. その他の必要事項については、製品安全データシートをご覧ください。

### ■カタログに関する注意事項

1. 本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
2. 本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
3. 本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
4. 本カタログは2009年6月に作成しました。

## 株式会社 トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>

本社・東日本営業Gr 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F  
TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073

中日本営業Gr 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3  
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

西日本営業Gr 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2  
TEL 092-642-9070 FAX 092-642-9071

首都圏セメント建材開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10  
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店